

熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞

最高のボランティア



三加和中学校
2年 池田 賢世

ぼくの父は大工をしています。子としていうのもなんですが、とても上手で、小さい頃は、木で車などを作ってくれました。しかし、そんな父でもミスをしたこともありました。今でもその時の傷あとがピンク色に盛り上がって残っています。

数ヶ月前、父はいつもどおり朝から仕事へ行っていました。別にかわったことはありませんでした。そして、昼すぎになり、ぼくと母と弟、妹は病院へ向かっていました。父がけがをして救急車で病院に運ばれたということを聞き、家族一同青ざめました。行ってみると父は腕をおさえて先生と話していました。そのけがは、エアー（風の力）でクギを飛ばす機械が誤作動して、腕に刺さったらしく、ここの病院では危険で手術ができないと、別の病院へ行き、手術をしました。そして、数時間後、無事終わり、父はそのまま入院となりました。家族みんなでホッと安心しました。そして、今考えてみると、もし、救急車が来てくれなかったら、腕が使えなくなっていたかもしれません。そして、ぼくはもし税がない世界だったら、と考えてみました。消防車、救急車、警察を呼んでも来てくれない。道路はボロボロで、ゴミはあふれ、小学生、中学生が働き、学校に行けない人もいます。もしそうってしまったら、世界は確実に悪い方へ進んでいくことになります。そんな世界はいやだと思います。ぼくは絶対にいやです。犯罪は増え、多くの人が命を落とし、活気も笑顔も消えてしまう世界。そんな世界はいやだ。そんな世界にしたくない。とおもうならば、きちんと税をおさめることが大切だと思います。今、少子高齢化が進んでいるのはみんな知っていると思います。さらに、消費税が上がったりして、ぼくたちには、よくないように思われます。しかし、税金の使い方を考えると、一人一人がみんなのために貯金をしていると考えerとどうでしょう。ぼくは、税金とは、優しく温かいものに感じました。その理由は、誰かが、誰かを思いやってお金ははらっているということです。そして、実際、ぼくたちはその税金に助けられて、いつもどおりの生活をしています。だから、税金は、一人の心づかいで、みんなの命や生活を救う最高のボランティアだと思います。だから、ぼくはどんなに税が上がっても、しっかりはらい続けます。みんなの笑顔のために。

全国納税貯蓄組合連合会優秀賞

社会の中で税と生きる

平成11年9月10日、その日は大雨が降り、雷が鳴っていた。私は家族といっしょに部屋でテレビをみていた。ピカッ、ゴロゴロゴロ。ドカッ！すさまじい音が鳴り、家中が停電した。雷が落ちたのだ。しばらくして、祖母が別の部屋の異常を感じ、その部屋を見に行った。すると、その部屋は火事になっていた。私はその時の事は、まだ幼かったので覚えていないが、窓の外にたくさんの消防車が来ていたことは覚えている。この火事は、幸い天井が焼けただけで済んだ。それは、すぐ駆けつけてくれた消防署や消防団の方々のおかげであると私は思う。そして、もとをたどれば、それは『税』のおかげなのである。私は6年生まで「税」というものを知らなかった。私が『税』を知ったのは、租税教室があったからだった。ビデオで『税』のない世の中を見てみると、本当に不便であるし、豊かな生活をしていくことができないことを知った。税を知らなかった私は、生活の中で、消費税などの税に腹が立っていた。「なぜ税をとるのか。そんなことをする必要はないだろう。」

と、『税』を軽くみていた私だが、租税教室で『税』の大切さを知ってから、生活の中で、『税』の大切さを感じられるようになったのだ。『税』は、生活の中でも社会の中でも、さまざまなところに使われている。私たちが学校で授業を受けられるのも税のおかげだ。そう考えると、税は日常の中で欠かすことのできないものなのだ。あと数年もすると、私も社会に出て行くことになる。そうすると、私も税にふれる機会がたくさんあると思う。働くようになれば、自分で税を納めなくてはいけなくなるし、いつ、どこで起るか分からない事故や火事などがあった場合、警察や消防などの人をよぶのにも税が必要となる。このような税は、日本国民一人一人が支払っているものである。そんな税は、社会の至るところで有効に使われている。最近のニュースで消防車や救急車を「タクシー代がもったいないから」や「病院に〇〇時に予約している」などの理由から、自分勝手な都合で使っている人がいるという。それでは税の無駄遣いをしているだけではないか、と私は怒りをおぼえる。有効に使わなければならない税を無駄に使う人は、たぶん税の大切さを感じていないのだろう。そんな人が一人でも減るように、私も税の大切さを多くの人に知ってもらいたいと思う。そして、私も身近な税についてもっと関心を持ち、無駄にしないような生活をしていきたいと。



三加和中学校
1年 福山 沙希

和水町教育長賞

姉も納税者の仲間入り



三加和中学校
3年 横手 希美

和水町長賞

救急車を呼んでもいいですか？



三加和中学校
2年 河野 夏美

玉名荒尾地区青色申告会連合会会長賞

税のありがたさ

私は今まで、授業中ぐらいにしか「税」について考えるようなことはなかった。しかも毎回「税」の学習の時は正直いってめんどくさいなあと思う。普段あまり「税」と直接的に関わることも少ないし、毎回似たような内容を学ぶからだ。しかも知ったからといって、税は必ず払わなければいけないものなのだし、今までの生活となにかしら変わるわけでもない。

ところがある日、そんなふうに考えていた「税」に助けられた。

それは私が小学六年生の時の下校時。小学一年生の妹が班に追いつこうと走り出し、横断歩道を安全確認もせずに渡った時だった。

「キキッ。ドンッ。」

私の妹は交通事故にあった。私はすぐさま妹にかけより、「大丈夫。どこか痛いところ、ない。」

と、妹に問いかけていた。妹はまるでなにが起こったのか理解できていないようだった。

周りにいた人達がすぐに救急車を呼び、私は妹と一緒に急いで病院へとむかった。幸い車と直接ぶつかったのは水筒で、妹はすり傷だけですんだ。その後、警察とかもうごいてくれて、この出来事は終わった。

もし、税の制度がなかったら、こういうふうには救急車はこなかっただろう。警察がうごくこともなかっただろう。利用するのにも多額のお金がかかっただろう。もし、税の制度がない世の中で、妹が事故にあってもどうすることもできず、死んでしまったり、脳や身体に障害が残っていたらと思うとゾッとする。

私はこの時初めて、税のありがたさがわかったのである。

この事故の時だけではなく、私達は他にも税に助けられていることもわかった。病気やケガをした時、病院に行ってみてもらった後にお金を払う際、払うのは全体のおよそ三割でいいらしい。つまり、約七割は税金でまかなわれているのだ。他にも学校での教科書や問題集、ノートやファイルなどもすべて税を使ってある。

こんなにいろいろな分野で使われている税は、とても大切なものなのだとわかった。だから私達もきちんと税を納めていきたいと思う。といっても、私達に一番関わりがある税は消費税くらいしかない。だから消費税でもちゃんと払いたいと思う。

だがときどき、そんな大切な税を無駄使いしている人がいる。大切なお金なのだから、そんなことはしないで、本当に必要な人達のために使ってほしい。私は租税教室を通して心からそう思った。



三加和中学校
3年 横手 燿

e-Taxをはじめよう！ 確定申告はe-Taxで



HPからe-Tax

e-Taxは国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」からご利用になれます。



国税庁
HP

最高5,000円の税額控除

平成20年分の所得税の確定申告書の提出を本人の電子署名及び電子証明書を付して、申告期限内にe-Taxで行うと、所得税額から最高5,000円の控除を受けることができます。
※平成19年分の確定申告で本控除の適用を受けた方は受けられません。

添付書類を提出省略

医療費の領収書や源泉徴収票等は、書類の記載内容を入力して送信することにより、その提出又は提示を省略することができます。

※確定申告期限から3年間、書類の提出又は提示を求められることがあります。



源泉
徴収票

医療費の
領収書



詳しくは

e-Taxホームページでwww.e-tax.nta.go.jp

イータックス

で 検索